

新公立病院改革プランについて（地域医療構想関係部分抜粋）

常滑市民病院

【地域医療構想を踏まえた役割】（P29、P30）

<常滑市民が安心して受診できる病院>

常滑市唯一の入院施設を持つ病院として、まず、「常滑市民が安心して受診できる病院」でなければなりません。2次救急医療機関として、急性期患者に対応するため、引き続き、急性期医療の提供を続けていきます。そして、今後増えることが予想される回復期患者にも充分対応していかなければなりません。当院は、今後も急性期医療を主体としつつも回復期医療などにも取り組むケアミックス型の病院としての役割を果たしていきます。

<災害拠点病院との連携>

当院は、海岸から離れた海拔 32メートルの高台に位置し、最新の災害対応機能を備えています。災害時には災害連携病院として、知多半島医療圏内の災害拠点病院を補完する機能を果たしていきます。知多半島医療圏の中で最大規模の施設を備えた人工透析医療については、拠点病院としての役割を果たしていきます。

<特定感染症指定医療機関としての受入体制強化>

平成 28 年 1 月 4 日、厚生労働大臣より国内 4 番目となる特定感染症指定医療機関の指定を受け、未知の感染症の蔓延を水際で防ぐ役割を担っています。今後も、特定感染症指定医療機関としての責務を担うため、国県双方と連携し、受入体制の強化に努めていきます。

【再編・ネットワーク化】（P40）

（1）近隣病院との連携

平成 33 年度に計画されている半田病院の建替えに向けて、少なくとも半田病院、常滑市民病院及び知多厚生病院の機能再確認を行い、必要に応じて、機能分担及び連携強化の協議を進めていきます。

（2）知多半島医療連携ネットワーク

平成 29 年 2 月 1 日から半田病院、西知多総合病院、常滑市民病院の 3 病院で構成される「知多半島医療連携ネットワーク」の運用が開始されました。このネットワークは、患者の同意のもと 3 病院間での電子カルテの相互開示や、このネットワークに参加する地域の医療機関からも 3 病院の電子カルテの確認が可能となるものです。この連携により、途切れのない質の高い医療の提供ができるようになりました。

（3）地域医療連携推進法人

人材確保、共同購買及び医療機器共有化などのメリットが望めるのであれば、緩い連合形態としての地域医療連携推進法人への参画も検討していきます。

【数値目標について】（P38、P41）

＜医療機能等指標に係る目標数値＞

医療機能指標	H26年度 (実績)	H27年度 (実績)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
救急患者数（人）	9,899	11,806	11,797	12,500	12,000	11,800	11,500
手術件数（件）	1,210	1,296	1,310	1,400	1,600	1,800	2,000
紹介率（%）	38.0%	39.1%	43.9%	47.9%	51.9%	55.9%	60.0%
逆紹介率（%）	28.4%	23.8%	28.5%	31.2%	33.8%	37.0%	40.0%
回復期リハビリ単位数（単位）	24,142	67,434	68,059	71,450	78,595	85,740	85,740

＜経営指標に係る目標数値＞

（１）収支改善に係る指標

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
経常収支比率（%）	98.1%	98.4%	99.0%	100.1%
医業収支比率（%）	91.9%	96.6%	97.5%	98.6%

（２）経費抑制に係る指標

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
材料費対医業収益率（%）	19.0%	18.6%	18.7%	18.7%
うち薬品費対医業収益率（%）	12.7%	12.8%	12.9%	13.0%

（３）収入確保に係る指標

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1日あたり入院患者数（人）	235	236	238	240
入院単価（円）	43,064	44,207	45,159	46,233
1日あたり外来患者数（人）	615	620	625	630
外来単価（円）	12,300	12,414	12,525	12,685
DPC医療機関別係数	-	1.2673	1.2832	1.2881

（４）経営の安定性に係る指標

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
医師数（人）	36	40	45	50